夕刊 磐城新聞
四月四日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

戸數割所得申告に就て

吉田松雄

三

總數入金額

必要の經費を控除せざる收入金額其儘を書く事（卸す）

小賣高を總計高小賣高に記載す）

所得金額勤勞所得（給料手當、賞與、恩給等）及株額の配當金は總收入金と同額を其儘書く事

一世帶內に所得者ある時は所得者氏名を書く事

所得額算定の方法は左の方法に依り計算記載する事

一、營業に非らざる貸金の利子並に公債、社債、預金及貯金の利子は前年中（一月より十二月迄）の收入金額を記載する事

二、山林の所得は前年中の總收入金額より必要の經費に控除したる金額

三、賞與又は賞與の性質を有する給與は前年三月一日より其の年の二月末日迄の收入金額

法人より受くる利益若は利息の配當剩餘金の分配に付ても前に同じ

但し無記名株式の配當に付ては同期間內に於て支拂ひ受けたる金額

四、俸給、給料、歳費、年金、恩給、退隱料及此等の性質を有する給與は前年中の收入金額

但し前年一月一日より引續き支給を受けたるに非らざれば、其の者は其の年の豫算年額（四月に四十圓を取る給料であれば其の年一ケ年に四百八十圓を記載す）

前記以外の所得の有る者は前年中の總收入金額より必要の經費を控除したる金額

前年一月一日より引續き有したるに非らざる資產營業又は職業の所得に付ては其の年の豫算年額を記載する事

控除する必要經費とは種苗、蠶種、肥料の購買費、家畜其他のもの〻飼養料

仕入商品の原價、原料品の代價、場所物件の修繕料又は借入料、場所物件又は業務に係る公課金、雇人の給料等にして、家事上の費用は控除出來ません

期間は四月一日のり四月末日迄ですから忘れなく前述の通り資產有りの儘申告する様に心懸けませう（完）

磐新歌壇

小山田滋選

『春を呼ぶ雪』 植田町 龍子

○夢に似てひと夜を春の雪ふりぬ、しろがねいろに地をおほひつ〻

○去りゆきし君が恨みのそれのごと、なほふりやます三月の雪

○三月の雪の如くにうつ〻なし、このうらみごと君にいはねば

○物思ひたゆる間のなき胸に似てわびしくつもる三月の雪

潮聲硯靜抄帳

片寄文狂

病後衰老、臨席不能、遺憾不斜

春風にこそくられけり鬚の伸び

寒薔薇 渡邊武門

寒薔薇生徒は窓を離れさる

寒薔薇午後の校舍の靜かなり

ストーブの灰をかむれり鉢の蘭

凍鶴 赤羽松堂

凍鶴や寒水石の碑の寒し

凍鶴に松の落葉降りか〻り

[illegible]たゞ松風の時雨のみ

創作 異性（十）

木津茂太郎

助次郎と英子が火鉢に凭つて坐つてゐた

いつ子は助次郎にその傍に坐つてゐる英子に

『たゞいま……』

と云つてから、二階へあがつて行つた

風呂敷包みを片隅の机の上に置くと、いつ子は羽織をぬかうとした。其の時今の光の言葉が胸を掠めた

『靜ちやんは……』

と低い聲で呟やいた、そして羽織を壁の釘に掛けた

寂しいやうな思ひが胸一杯に廣がつて、行つてそれにうれしさが交り合つて妙な氣持が起つて來た

『靜ちやんは……』

もう一度いつ子はいつた

それから窓の所へ寄つて、凝と看板の間から往來を見下した

いつ子のふつくらした頰や黒い眼には、興奮が動いてゐた。いつ子はまた戾つて來て矢張壁の釘に掛けてあつた平常着の羽織を取ると、落着いてそれを着てまた窓際に寄つた

往來はもう白く二寸程も積つてゐた。その上にまた向ひ側の警察署のポンプ小屋の上に雪はしら〳〵と降り注いでゐた

『そんなに……』

いつ子は靜也が強く自分と思つて呉れるのが、とても嬉しかつたけれど、一方には靜也が學生である事を思ふと、生意氣な人だと思はない譯に行かなかつた、いつ子には靜也が弟のやうに――けれど、弟に對するよりは一寸色濃い別の感情が加はつてゐたが、云はゞ可愛い〻――と云ふ樣な愛情であつた。他人の樣な氣がしないだけの事だつた

英子のこゑで、下で呼ぶのが聞ねて來た

『いつちやん、いつちやアン』

いつ子は返事をした。それから階段を落ちて行つた

雪が、夜になつても一向に止む氣色が見えなかつた

靜也は十時頃家を出て行つた

助次郎――憎い助次郎の家ではあつたが、其處にいつ子が居ることを考へると靜也はじつと家の中に坐つてゐることが出來ないのであつた

海

柳野吉春

のたり
ちやつぷり
光らない海
岬
あかい灯
巡航船だよ
てすり
手拭
そつとつめたい

社會の今日

4月5日 △ネルソン生る（一七六九）△永井尙志海軍を起す(安政元)△太政官日誌を發行す(明治九)△東日主催選拔野球大會最終日松山商業勝つ(昭和七)△全國道府縣會議長會議を名古屋で開會△皇道會結盟式擧行△アメリカ大統領は金輸出禁止令緩和の大統領令を公布す(同八)

○

交る小鳥の聲張る高枝霞みけり 美穗

春日に蜂のおこなひ見ています父やまことに老いましにけり 高村露一

講談 浪人長屋

日岐武志作 月草道子畫

(53)

うれしい桃割れ

ゆつくりと湯を使つて湯殿を出ると、お新は臺所に向つて

『幹や』

と、めづらしくほがらかな聲で、呼んだ

『ちよつと來ておくれ』

『はい、只今』

お新は氣忙しげに障子際へ鏡を持ち出して坐ると、這入つて來た幹やに

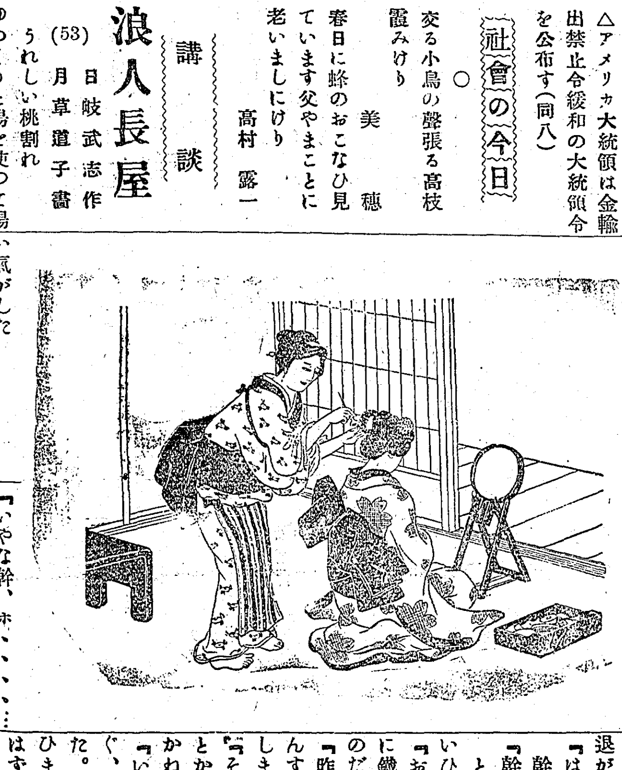
『髮をちよいと直しておくれ』

といつたお孃さまとは先刻とは打つて變つたやさしさである

『結ひ直すのでござんすのか』

『い〻ゑ、後の方だけをちよつとなほして貰ひたいの!』

幹やは、櫛をとつて、お新の後ろへ廻つた。鏡の中の桃われのお孃さまのまるぽちやの顏が、湯上りらしくぽッと上氣して、いきいきと輝いて見えた。幹やはお孃さまの嬉しさうな樣子が、すぐ讀めると、をかしい氣がした



『幹や、何がうれしくつて笑つてるのだね』

鏡の中でお孃さまと女中の顏がほ〻ゑみ合つた

『あら幹やは何も笑ひませぬ』

『うそを、おいひでない。』

お前が笑つたのが、鏡の中へちやんと映つたよ』

幹やは、しまつたと思つたが

『でも、お孃さまがとてもお嬉しさうに見えるのでござんすので、幹やまで嬉しくなつたんでございます』

『アレ、幹やはほんとにお上手ものだこと』

『い〻ゑ、幹はほんたうのことを申しております。お孃さまが嬉しいときは、幹もこ〻ろから嬉しくなるのでござんす』

『まア……たんと、嬉しがらせをおいひよ、ホホホ……』

『ホラ、お孃さまのお嬉しさうなご樣子……ホ、ホ、ホ……』

『いやな幹、ホ、、、、、、』

『でも、お孃さま、今宵といふ今よひこそ、しつかりおやりなされませ。及ばずながらも幹もお力添へいたします』

『おや、何さ』

お新は照れがましさをまぎらはすやうに、わざと聞き返したが、ぱッと頰をあからめてゐた

『アレ、何もかも御存じのくせに鐵彌さまのご酒宴が今宵うちに、開かれることをご存じないなどはありませぬ、先刻からお嬉しさうなご樣子も、鐵彌さまがお見えなさるからでござんせう。幹にはお孃さまのおこ〻ろがすつかり分つてるのでござんすよ』

『お集まりの若い衆が、た嬢樣をお酌にと、お招きになさるにきまつてゐますから、その時こそ鐵彌樣のお側へいつて思ふ存分お語りなされませ、羞かしくお思ひなさつてはいけませぬ』

お新はさすがに氣羞かしげに、だまつてうつむいてゐた

『幹やも、おそばで、よしなにお取持ちいたします程に……これで、よろしうござんせうか』

幹やは櫛を手にしたま〻すこし後ろへ退つていつた

お新は後ろへ手をやり乍ら、鏡の中の自分の髮の形を見直した

『あ、よいやうだね』

可愛い桃割れが鏡の中に香ふばかりである

『ありがと、もうよいから退がつておくれ』

『はい』

幹やが櫛等を片付けると、呼びとめて、お新はいひにくさうに

『お新は、あれね、たしかに鐵彌さまにお渡し申したのだね』

『昨夜のお文のことでござんすならしかと、お渡し申しました』

『それで鐵彌さまは、なんとかおつしやたんぢやないかね』

『い〻ゑ、お渡しするとすぐ、幹は逃げてまゐりました。人目につくと大變と思ひましたので、なんとも伺はずに……』

廣告

前田醫院 院長 前田清美 植田町電話一二四

●第一線を行く◎◎◎◎◎
春の中折帽
春ショール
◎女學生手提◎ 六十錢・七十五錢
◎女學生靴下◎ 二足…五十錢
中野洋品店 平二 電53

ヒナ人形御道具類 特價大賣出し
人形御道具類並に高級御殿等例年通り豊富に山積致して有ります
當店は元來御客樣本位主義を以て大勉强致します。是非御來店の程を御待ち致します。
平町三本目本通り 落花生問屋 際物元祖 叶・加藤商店

特製 雛人形 雛道具 賣出し
例年の通り店內陳列をいたしましたぜひ御覽下さい。たまちいたして居ります。
平町三丁目 金太郎玩具店

雛人形の大市
東京一流の名作品を取揃へ賑々しく陳列いたしました、例年の如く格安品も澤山御座います是非御覽下さい
雛人形一人箱入 三十五錢より
內裏雛 一圓二十錢より
御殿人形 一圓三十錢より參十五圓迄
十五人一揃 六圓五十錢ゟ百圓迄有之候
二丁目の ふくだや

感じの良い！客に親切な……
藥種賣藥、工業藥品
衛生材料、各種染料
化粧品、其他
阿部藥舖 平・田町（松月堂向）

職工徒弟募集廣告
◇大工 職 五名
◇女工 五名
◇徒弟 八名
◎挽物及木工玩具製作トシテ合理的製作方ヲ望ム人
資格〔年齡―拾三四歳ヨリ拾六歳位迄 學歷―尋常科卒業又ハ以上の事〕
◎御希望者ハ至急御面談又ハ御問合セヲ乞フ
各種挽物 木製敎育 玩具木馬 專門製作
平町十五丁目（共濟病院向） 佐藤木工製作所 電話三八一番（呼） 振替口座東京五七一七六番

徽章
團体徽章一ケ一錢ヨリ
御一報次第見本持參仕候
平町田町 ハシモトヤ糸店 電一一四

歷史は古く、內容充實
本校より磐中二年へ編入試驗合格二名出願して何れも合格
合格率百パーセント
新妻時夫君（磐中）
酒井明君（仝）
藻谷英夫君（商業）
中學、商業ヲ志望スル方ハ學費低廉ナル本校ヲ經ヲ編入學ヲナスノガ得策ヂス
磐城青年學校

御通學には 魂の這入つた…… フタバの自轉車で
責任保證付。總クローム
東京製新車 廿五圓ヨリ
一年保ツ中古車 十圓前後
フタバ式リヤカー發賣元、
フタバ商會 平。新川町。月見橋際
(見習生貳名採用)

大塚の……學生靴 景品附き……特賣
◎自製 ボックス耐久半靴 五圓より
◎同 編上靴 六圓より
◎磐中 平商 指定 運動靴 体操ボーシ ズボン
◎女學校指定 通學靴 五圓五十錢より
◎同 指定 上靴こ運動靴
小學生用、通學靴、運動靴
牛皮製 ランドセル 一、五〇
粗製品時代は過ぎました。堅牢の良質誇る弊店の製品を………
大塚製靴部 平田町・電話七十七番

入學記念時計賣出し
お目出度い御入學御進學が近づきました。御祝に是非正カクな御時計及御眼鏡を御求め下さい。學生樣用にかぎり拾ケ年保險付
特價 金七圓ヨリ
近眼鏡（メニス玉入） 金壹圓五十錢ヨリ
右のサービスは 三月十五日ヨリ四月十五日マデ
(小店員數名募集)
平町五丁目（釜屋前） 金光堂時計店 電一九五

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
本店 水戶線下館驛前 電話六一番
(電話五五番)
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻油、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三、八二四）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
◇海上給油及油槽所 久慈濱、大津、平潟

季節的の懸念に反し 石炭の需要依然殺到

去月下旬中の一日當り平均增差 遂に近來の最高記錄を示す

鐵道納炭量の膨張、價格の釣り上げと好條件づくめに惠まるゝ地方炭界は今後暖氣に入り漸次需要季に遠ざかると共に送炭量も或は下り坂に向ふでは無いかと一部の懸念無きに非る折柄之を去月下旬の實績に徵すると

營業用四、九一七車五八、六七二噸 省用二、〇一一車二五、〇四九噸 合計六、九二八車八三、七二一噸

で前年同期に比し

(增差) 營業用一、一一五車一二、一五五噸 省用七〇一車六、一六九噸 合計一、八一六車一八、二二四噸

卽ち一日平均千六百五十八噸增と云ふ近來の最高記錄を示した、因に同月合計一萬八千六百二十二車二十二萬八千八百二十七噸は前年同月を淩ぐ事實に三千九百六十車三萬七千七十六噸と云ふ大きな數字を以て依然常磐炭界の景氣旺盛を物語つてゐる

大會出席の往復に 地質學の諸權威來平

地方の炭層其他を調査

地質學界及び地理學會は去る三十一日及び一日の二日間仙台東北帝大に於いて開かれ既報早大德永理工學博士始め斯界の權威一堂に會し研究發表等盛會であつたが前商工省地質調査所長大井上義近氏は出席の途次二十九日來平一泊、三十日双葉郡龍田附近の炭層に就いて調査した、又第一高等學校講師佐々木彥一郎、東京帝大地理學教室福井英一郎の兩氏は歸途來平、磐女教諭山口彌一郎氏の案內で四倉及び湯本の聚落を調査した

蛭田川竣功

昨日小林所長踏査

本勿來町大字酒井地內蛭田川は工費一萬圓、八年度匡救事業として昨年六月一日着工したが同年度分は愈々此程竣功したので小林平土木監督所長は昨三日實地踏査したが同川は長さ六五二米、下巾二〇米、上巾三七米、堤防上巾高さ各三米で面目一新、九年度殘餘工事延長は約二千五百米であると

愛林日 記念植樹

平町では去る二日から三日間に亘る愛林デーに際しこれが思想普及の爲縣山林會より分讓された欅、公孫樹の苗木各十本を町內左記神社に割當て昨三日の佳日をトし植樹した

鎌田町熊野神社欅三本、公孫樹二本、立町別雷神社欅各二本、同苑地稻荷神社各二本、月見町士面觀世音欅一本、公孫樹二本、仲間町北野神社各二

惡道路が直って 超スピード時代現出

田人地方民大喜び

東北地方でも有名な惡道路として常に通行人を惱して居た植田町仁井田地內より田人村井戸澤に至る延長約四十米、巾四米の道路改修は七、八年度二ヶ年繼續事業として工事中であつたが愈々此程完成した、そのかみ田人役場地內より植田町には丸一日を費したのが現在では乘合自動車の便あり約四十五分位で兩部落を往復出來ると云ふ超スピード時代を現出して居ると

米穀共同販賣

一昨日午後四時平倉庫內で入札を行つたが落札者左の如し

平八圓五十一錢(根本品藏) 渡邊八圓三十九錢(同)神谷八圓五十錢(馬目玉彌) 勿來八圓五十五錢(秋山榮)

戶石局長出仙

戶石平局長は來る十日より五日間仙臺遞信局內に於て開かれる一二等局長會議に出席の爲九日出仙すると

公有物件保險契約打合

平町では明後六日午後一時から町內保險會社代理店主一同を招き公有物件保險契約の打合せをなすと

三日間全山に漲る 奉祝と歡樂氣分

蕾膨らむの花信と共に 今年も旣に山神祭の噂

毎年花信と共に來る常磐炭界の最大行事である守護神山神社の祭典は旣報の如く來十六、七、八の三日間を通じて盛大に擧行されるので期日の切迫と共に各鑛共目下夫々出し物の妙案を練つてゐるが入山炭鑛では今年は待望久しき神殿の造營も巨額の費をつひやして竣功、その遷宮式が擧行されるので例年に見ぬ盛大を極める事であらう、神輿は十七日渡御行はれるが本年は社宅若衆が神輿に供奉すると、當日の餘興としては境內附近に大々神樂の奉納を始め種々催し物が計劃されており、殊に居住各區は秘策を練りそれ〲準備を整へて居れば想像外の裝飾に美化されることであらう年に一度の全山を擧げての奉祝氣分が如何に現はれるか、待たるゝは當日の賑はひである、尙昨年大好評を得た奉祝大花火は本年は左記の如くそれに倍して大仕掛けに行はれるであらうと

(尺玉)—秋の野菊の滿花引先變に東京吉原夜景 (八寸玉)—雨中シガラミ雷後の曲、變化星に彩色分砲曲、變芯引先變化星 (仕掛)—日本海戰旗艦三笠、櫻音頭、祝山神祭、東京音頭、朝顏滿花、菊花園瀑、月下の水車、(其他五寸、四寸玉五十發餘)

二萬口に滿足せず 簡保開拓を續行

平局今春は公園で活躍

平局八年度に於ける簡易保險の開拓成績は

二千七百五十三口、二千百四十四圓

小兒保險六百十三口、三百七十三圓五十錢

で逐年向上の域に進み昨年中豫てからの目標たる二萬口を突破したが尙は新年度を迎へて全局員の戶別訪問櫻の松ヶ岡公園內に加入者の無料休息所を設け接待し子供さん達には贈物をなす等の方法により簡易保險の大勸誘をなすと

滿開の土日二日間 お花見臨時列車運轉

公園下假降車も繼續

鐵道では昨春から臨時列車の運轉と公園下假降車とにより、お花見客の便を圖り大に好評を博したが今年も滿開の來二十一、二(土、日)兩日左記臨時を運轉すると(◎印は公園下停車)

(下り)湯本發◎午前十時五分、綴十時十四分、平著十時二十四分

湯本發◎午後二時十分、綴二時十九分、平著二時二十九分

湯本發◎午後五時二十分綴五時二十九分、平著五時三十九分

平發六時十九分、草野六時四十三分、四倉著六時五十二分

(上り)平發午前九時四十分、綴九時四十七分、湯本著九時五十三分

平發午後一時三十分、綴一時三十七分、湯本著一時四十三分

平發四時二十分、綴四時二十七分、湯本著四時三十三分

四倉發四時二十五分、草野四時三十三分、平著四時四十二分—上野行

四倉發七時三十三分、草野七時四十一分、平著七時五十分—上野行

入山炭鑛今月行事

入山炭鑛に於ける今月中の諸行事左の如し

(七日)於東俱樂部園藝部委員會(十日)於平町松ヶ岡公園招魂祭武道大會に劍道部參加(十六、七、八日)山神社祭典(十六日)山神社奉納角力大會(二十一日)入山小學校創立記念遠足會(二十四日)イ、於東俱樂部春季將棋大會 ロ、於臺山弓道場弓道部月並會磐中對野球戰(二十五日)菊花部講習會及委員會(二十九日)天長節拜賀式 イ、在鄕軍人分會總會 ロ、男女靑年團總會(每週木日曜日)、尺八講習(每週水木曜日) 素謠練習會(期日未定) 常磐炭鑛聯合庭球大會(同) 消防樂審會總會

平町低資借入

九年度經費充當の爲七十七銀行から金一萬五千圓を借入れる事になり今四日書類を送附した

平窪農會總會

來る八日午前十時より同村小學校で開催、決、豫算報告後縣農會野村技師の講演がある

鍼灸會支部總會

石城の第七回同會は昨三日午前十時から磐城訓盲院に開き豫決算報告、役員改選、功勞者の表彰をなした

街頭脅威時代! 突然橫合から出て トラックに衝突

幼兒生命危篤

平町鎌田町下河原三二金成自動車部運轉手豊間村沼の內生れ阿部義光(二四)は昨三日午後三時半頃トラックを運轉才槌小路通りを進行中突然橫合ひから飛び出た同町才槌小路洗濯業忠治四男篠原照男(四)に衝突頭部其他に瀕死の重傷を負はせた被害者は目下安齋病院で生命危篤

電柱を折り乘客重傷

小名の運公屆出を怠る

同日午後二時頃小名濱町馬目自動車部運轉手鈴木直太郎(三六)運轉の乘合自動車は湯本踏切り南方約五、六町の地先で操縱を過り電柱に激突折り倒し乘客一名に全治三週間の重傷を負はせ、屆出でを怠つた廉により今四日檢擧嚴重取調べ中である

奇特な一中學生

合格祝で貰つた金を 函館と滿洲兵に贈る

今四日午前十時頃平町役場窓口に左の如き手紙に金二圓を添ゑ名も告げず立ち歸つた奇特な中學生があり靑沼町長以下少からず感謝してゐる

——僕は此の春當町の第一小學校を巢立一人でございます(中略)父母は今後の子供が世に出るにはどうしても教育が必要だからと僕を中學へ入學致す樣にと申されました僕も長い間希望致せし中學とて試驗を受けました幸ひ僕も一年生の仲間入りが出ました(略)次に僕の入學を喜び下された方にお祝ひとして頂いたお金がございます、少し品を買ひましたのであまり少しでございますが、函館にて燒果された僕達の仲間の方にお分け下さい、又滿洲の寒空に働いておられる人々にも差上げて下さい

函館義捐金

平町役場取扱ひ函館義捐金其後の分左の如し

(大工町)一八、五〇錢 (三丁目)六四、八〇錢 (紺屋町)四八、四〇錢 (一丁目)五二、〇〇錢 (四丁目)六〇、八〇錢 (胡摩澤)二五、七〇錢 (南町)四一、五〇錢(月見町)三〇、〇〇錢(新川町)四四、五〇錢(田町)七三、二五錢(無名氏)一圓、累計八六八、八五錢

鎌田青年分團主催「音樂と劇の夕」

函館義捐金募集に 盛り澤山のプロ內容

平町鎌田青年分團主催函館火災義捐金募集『音樂と劇の夕』は旣報の如く來る十四日午後六時から平第三小學校講堂で開催されるがプログラム左の如し

(合奏)丘を越えて(獨唱)酒は淚か溜息か、影を慕ひて、窓に凭れて(寸劇)王政復古(合奏)サーカスの唄、ギター(獨奏)題未定(ハーモニカ合奏)(笑劇)朗かな兵隊さん、大正琴(獨奏)(獨唱ギター伴奏)忘られぬ花、月の濱邊、妾此頃憂鬱よ(寸劇)どもり(合奏)片瀨波、はかなき旅、椿咲く島(ナンセンス)銀色夜叉(獨唱)十九の春、旅寢の夢、赤城の子守唄(合奏)淚の渡り鳥(喜劇)昭和の關所

今四日より放送の 學校向ラヂオ体操

平の三小學校でも實行

毎朝二回放送のラヂオ体操は毎日全國數千萬の老幼男女に實施されて居るが、この趨勢に鑑み先般東京で開催された全國放送局放送部長會議の席上全國學校生徒兒童に對し就業前の補助運動として學校向のラヂオ体操を放送する提案は各地の學校並に各方面の絕大の贊意を得たので愈よ小學校を基準として今四日の始業日より開始した、此の放送は毎朝の体操放送より多少遲度を早めて生徒兒童向の潑溂たる動作を行はせる方針で就業前十分間を目標とし本月から十月迄七ヶ月間は午前七時五十分から八時迄十一月から翌年三月迄の五ヶ月間は午前八時五十分から九時迄と決定したので各小學校で充分之を利用する事となつた尙は此の体操は隔日に第一と第二体操を放送するもので各種事情にて朝二回の体操に間に合なかつた向も之を利用する事が出來る、つまりラヂオ体操の放送が更に一回を增加した形である、尙は爾後日曜休日の第二回目のラヂオ体操放送は四十分間となり十分間を增加することになつた

兩縣立學校新學年主任

磐中、高女の新學級主任は左の如く決定し尙磐中では從來の學年主任を副主任に改め、磐女の學年主任は各學年一組主任が兼任する事となつた

磐中 一年—一組大村隆、二組谷澤武夫、三組小林勝八、四組樋口重太郎、五組柴田善登、副大淵彌次郎

二年—一組豊口欽哉、二組中島茂、三組谷澤寅夫、四組佐藤德三郎、五組野口新藏、副庄司政之

三年—一組大橋秀冬、二組下平漑、三組中柴光泰、四組新谷榮、五組山本三郎、副芝崎新吉

四年—一組近藤廣記、二組高淸水勇助、三組吉田泰雄、四組鈴木寅之丞、五組根本源壽、副下山田尙方

五年—一組廣田德行、二組廣木富之介、三組渡邊恒夫、四組山名隆貞、五組菅野貞雄

敎務—齋藤榮一

磐女 一年—一組酒井英吉、二組岩崎敏、三組佐々木クマ、四組武田美佐子

二年—一組田中金三郎、二組相德秀子、三組穴井重喜、四組金澤コウ

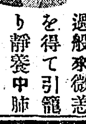
三年—一組淡路辰五郎、二組山口彌一郎、三組鈴木光四郎、四組大川ヨシ子

四年—一組士岐昇、二組新妻熊男、三組永島磯惣太、四組森いさを

敎務—中川完一

石山氏長逝

六日葬儀執行



平町會議員石山治三郎氏は過般來微恙を得て引籠り靜養中肺炎を併發して病猝かに革まり昨三日深更遂に長逝した、享年五十五歲、葬儀は六日午後一時材木町の自宅出棺長橋町性源寺に於て執行すると

氏は同町綠川廣吉氏の長男として生れ母方石山家を嗣ぎ、長じて建具製造業より木材商、土木建築請負業に進出し縣外松島方面に迄活躍した業績少からぬものがあり地方では現に平第二小學校は氏の手になつたものである性溫厚實業界に活動の傍納稅組合長、區長三期の外町會議員二期在任中で地方自治への貢獻も沒すべからざるがある、少壯時舊城址畔の本永塾に學び漢籍の造詣深かつたのは餘り人に知られぬ同氏敎養の一面であつた(寫眞石山氏)

藤田受賞者

第四十八回卒業證書授與式は昨三日擧行されたが受賞者次の如し

◇優等賞(本科)—今泉信子、水野和惠、高荻靜枝、鹿志村のひ、菅野登美代、綠川シゲル、(師範科)—二瓶タカヨ、熊川ハツヨ、鈴木芳子、吉田イクヨ、(裁縫專修科)—渡邊龍子、稻村サト、太熊美智子、立原鶴子、村山榮子、新妻ミツエ、岡田ミヨノ、(專攻科)—石田美代子、河內一代、根本ハルヨ、

◇在學年間精勤賞(本科)—伊藤フサ子、鹿志村のひ、川合千代、菅原登美代(師範科)—吉田イクヨ、鈴木芳子(裁專科)—高瀨花子、推根トク、岡田ミヨノ、白土俊子、渡邊龍子、白石シメ

◇獎學賞(本科)—今泉信子(裁專科)—渡邊龍子(マルトモ書店賞)(師範科)—二瓶タカヨ(專攻科)—石田美代(愛國婦人會賞)並に常盤屋時計店獎學賞(同)—高橋カツヱ、狩野タケヨ(選科)—高荻シカ(愛國婦人會賞)

◇成績優等表彰(本科一年)和田登美子、助川りゑ(裁專科一年)— 新妻ヨシ子、片寄トク

お披露目

忠魂祭もあと一週間足らず、愈々花が目の先へブラ下つて來たので新田町界隈の意氣込みは寧ろ物凄い程で、性艦比率何のその、盛に鬪房揮錢の準備中、この一兩日來出たの丈けでも久本の久奴(二〇)三島家の千成(一七)の二人があると云つた處

五日

日出 五、二四 月出後 八、二五
日沒 六、〇五 月沒前 ——
滿潮 前七、二〇 後一〇、一〇 干潮 前一、四五 後二、四〇

舊二月二十二日 木曜 丙午 四 大安 五 滿 月 角宿

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神聖館

▲一白の人 氣運平穩なる日定業を勵み飲食に注意あれ▲二黑の人 血氣に任せて自らは穴を掘るの假あるべし▲三碧の人 悠長に物事を處理して行けば大吉日となる▲四綠の人 平素の活動に酬ゆるに慰安を求め休養せよ▲五黃の人 風に吹き散らさるゝ紙片の如し拾收は困難▲六白の人 用意せる積りにても粗ろうありて破たんを招く▲七赤の人 才力に自負して自ら災禍に罹る日病厄注意▲八白の人 熱心の度過ぎて他を顧みず不利に陷るべし▲九紫の人 內に利を得て外に失ふが如し病難盜難注意

父石山治三郎儀病氣の處藥石効無く三日午後十一時五分死去致し候に付生前辱知の各位に謹告候也

追て葬儀は六日午後一時出棺性源寺に於て佛式相營み可申候

昭和九年四月四日

嗣子 石山一治
親戚總代 大原榮三郎 綠川治廣
友人總代 櫛田榮太郎 關內正一